

KENWOOD

カセットレシーバー

RX-250

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

© B64-1105-00 (JH)

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。
お読みになった後は必要ときにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告



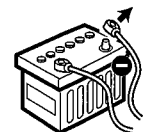
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電や怪我の原因となります。



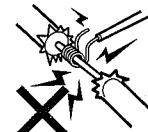
実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施

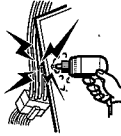
車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



警告



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



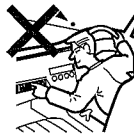
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



運転者が各種設定や調整をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。



ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常がございましたら、直ちに使用を中止し、必ず＜ご購入の販売店＞にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

注意



カセットテープ挿入口に指を入れないでください。怪我をすることがあります。



カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため＜ご購入の販売店＞にご依頼ください。



ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをすることがあります。



本製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。



本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

使用上のご注意

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットのお手入れについて

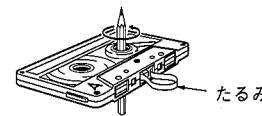
本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

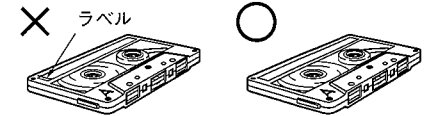
万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

テープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

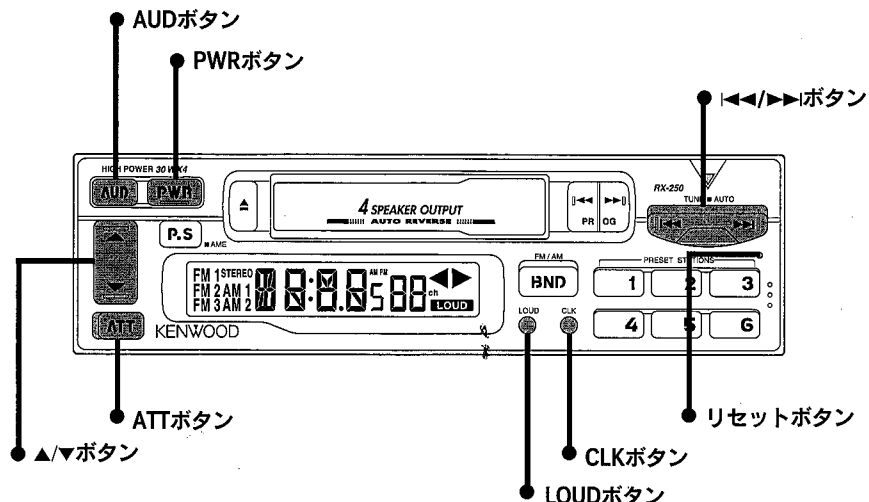
100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないで下さい。

ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、ご確認のうえお買い求めください。

ALL MODE

ALL MODE



1 電源ON / OFF -電源を入れる/切る-
PWRボタンを押すごとに、電源がオン/オフします。

オートアンテナ仕様車では電源をオンにすると、ソースモードに関係なくオートアンテナが伸びた状態になります。車庫入れなどでアンテナを縮めたいときは、電源をオフにしてください。

2 ボリューム -音量を調整する-
▲ボタンを押すごとに、音量が大きくなります。
▼ボタンを押すごとに、音量が小さくなります。

3 オーディオコントロール -オーディオの各種調整-

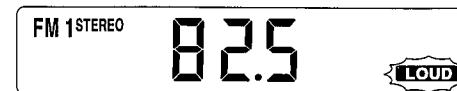
- AUDボタンを押すと、オーディオ調整モードになります。
- AUDボタンを押すごとに、調整モードがBAS（低音）⇒TRE（高音）⇒BAL（左右のバランス）⇒FA（前後のバランス）⇒解除（音量）の順に切り替わります。
- 各モード中に▲/▼ボタンを押すと、各設定値が以下の範囲で調整できます。
BAS（低音の調整）/TRE（高音の調整） -7~+7
BAL（左右のバランスの調整） L15~R15
FA（前後のバランスの調整） F15~R15

約5秒間何も操作しないと、オーディオ調整モードは自動的に終了し音量調整モードになります。

4 アッテネーター -音量をすばやく小さくする-
ATTボタンを押すごとに、アッテネーターがオン/オフします。オンにすると設定した音量表示が点滅して音量が瞬時に小さくなります。



5 ラウドネス -小音量時にメリハリのある音にする-
LOUDボタンを押すごとに、LOUDネスがオン/オフします。オン中はLOUDインジケータが点灯して低音と高音を強調した音質になります。

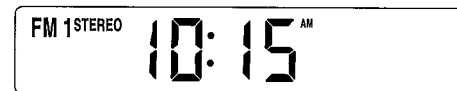


6 表示モード切り替え -表示を切り替える-
CLKボタンを押すごとに、以下のように表示が切り替わります。

モード	表示
チューナーモード	周波数↔時計
テープモード	"TAPE"↔時計

7 時計調整 -時刻を合わせる-

- CLKボタンを押して、時計を表示させます。
- CLKボタンを押しながら◀ボタンを押すと"時"、▶ボタンを押すと"分"が調整できます。押し続けると連続して調整できます。



約5秒間何も操作しないと、時計調整モードは自動的に終了します。

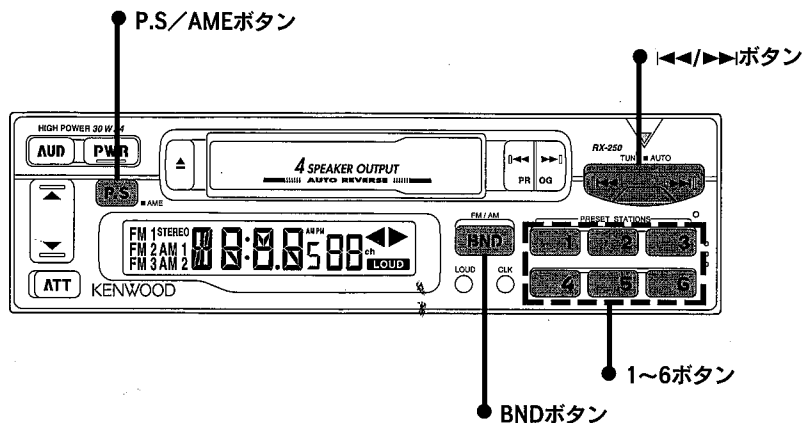
8 システムリセット
本機が誤動作したとき、セットに異常が生じたとき、またはバッテリー交換したときは、ペン先などでリセットボタンを押してください。

ALL MODE

TUNER MODE

TUNER MODE

TUNER MODE



チューナーモードはカセットテープを取り出した状態で操作してください。

1 バンド切り替え -聴きたいバンドを選ぶ-

BNDボタンを押すごとに、受信バンドがFM1⇒FM2⇒FM3⇒AM1⇒AM2に切り替わります。



2 チューニング -放送局を選ぶ-

● マニュアルチューニングで選局する

◀◀ボタンを押すごとに、周波数の低い方へ1ステップずつマニュアルチューニングします。

▶▶ボタンを押すごとに、周波数の高い方へ1ステップずつマニュアルチューニングします。

ステレオ放送を受信すると、STEREO インジケータが点灯します。

● オートチューニングで選局する

◀◀ボタンを1秒以上押し、周波数の低い方へ自動的に放送局を探して受信します。

▶▶ボタンを1秒以上押し、周波数の高い方へ自動的に放送局を探して受信します。

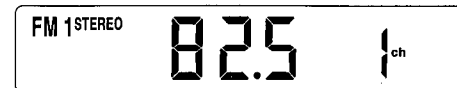
ステレオ放送を受信すると、STEREO インジケータが点灯します。



3 チューナーメモリー -聴いている放送局をメモリーする-

● 放送局をメモリーする

1. メモリーしたいバンドと放送局を受信します。
2. 1~6ボタンのいずれかを2秒以上押し、押したボタンNo.がディスプレイに表示され、放送局がメモリーされます。各バンドにそれぞれ6局までメモリーできます。



● メモリーした放送局を呼び出す

1~6ボタンのいずれかを押し、メモリーした放送局を受信します。

4 オートメモリー -自動的に放送局を探してメモリーする-

● オートメモリーを開始する

AMEボタンを2秒以上押し、"AME"と表示されオートメモリーが始まります。現在受信可能な放送局を各バンドにそれぞれ最大6局まで自動的にメモリーします。



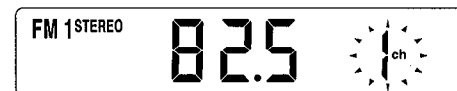
● メモリーされた放送局を呼び出す

1~6ボタンのいずれかを押し、メモリーした放送局を受信します。

5 プリセットスキャン -メモリーNo.順に受信して聴きたい放送局を探す-

● プリセットスキャンを開始する

1. 聴きたいバンドを選びます。
2. P.Sボタンを押すと、プリセットスキャンが始まります。選んだバンドにメモリーされている放送局をメモリーNo.順に約5秒間ずつ受信します。受信している放送局のメモリーNo.が点滅表示されます。

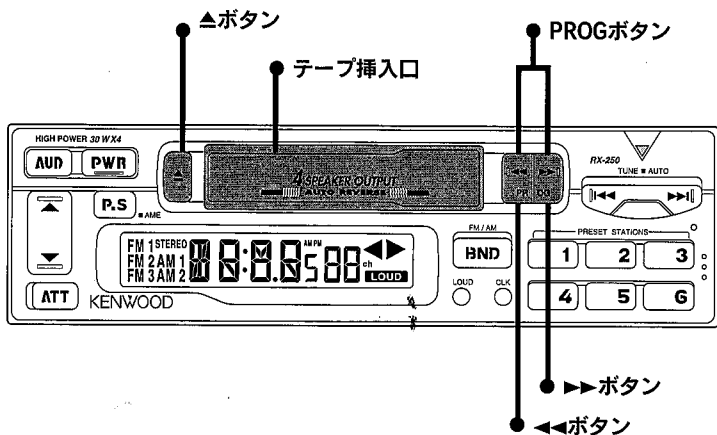


● 聴きたい放送局が見つかったら

P.Sボタンを押します。プリセットスキャンが解除され、選んだ放送局を受信します。

TAPE MODE

TAPE MODE



1 **テーププレイ/リバースプレイ** -カセットテープを演奏する-
 カセット挿入口にテープが見える面を右側にしてカセットテープを挿入すると、テーププレイが始まります。
 テーププレイ中に**PROG**ボタンを押すと、テープの演奏面が切り替わります。



テープ走行インジケータ

2 **イジェクト** -カセットテープを取り出す-
 ▲ボタンを押すと、カセットテープが出てきます。

3 **早送り**
 テープ走行インジケータと同じ方向の▶▶または◀◀ボタンを押すと、早送りが始まります。テープの最後まで早送りすると、自動的にリバース面を再生します。途中で解除するときは、**PROG**ボタンを押します。

4 **巻き戻し**
 テープ走行インジケータと逆方向の▶▶または◀◀ボタンを押すと、巻き戻しが始まります。テープの最初まで巻き戻しすると、自動的に再生します。途中で解除するときは、**PROG**ボタンを押します。

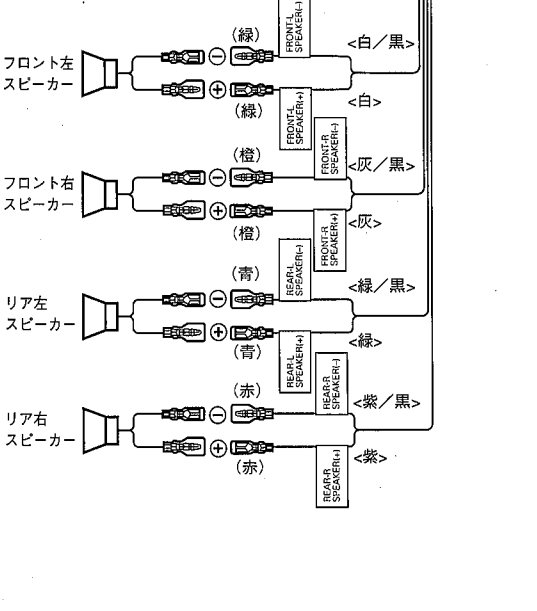
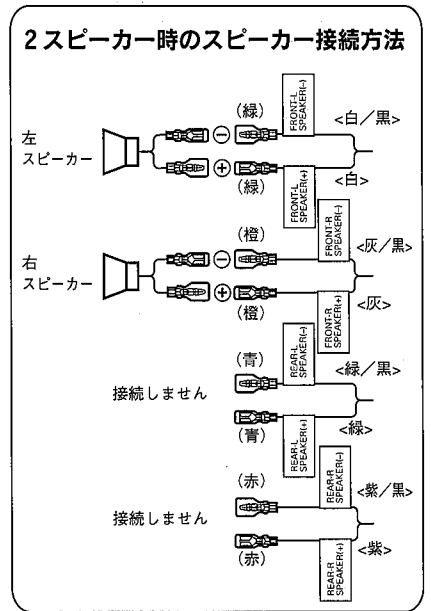
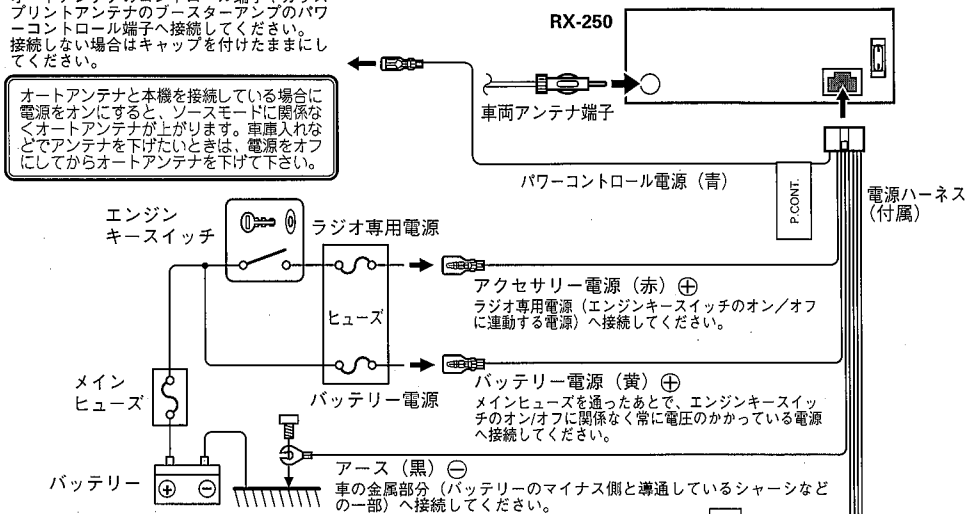
接続のしかた

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード (黒)、バッテリー電源コード (黄)、アクセサリ電源コード (赤) の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをRX-250に接続します。
5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
6. リセットボタンを押します。

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのプースターアップのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

オートアンテナと本機を接続している場合に電源をオンにすると、ソースモードに関係なくオートアンテナが上がります。車庫入れなどでアンテナを下げたいときは、電源をオフしてからオートアンテナを下げて下さい。

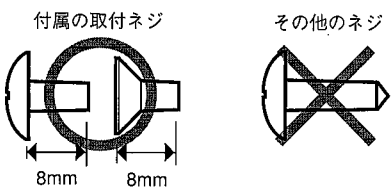


取り付けかた

付属のネジ (Ø5×8mm) を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

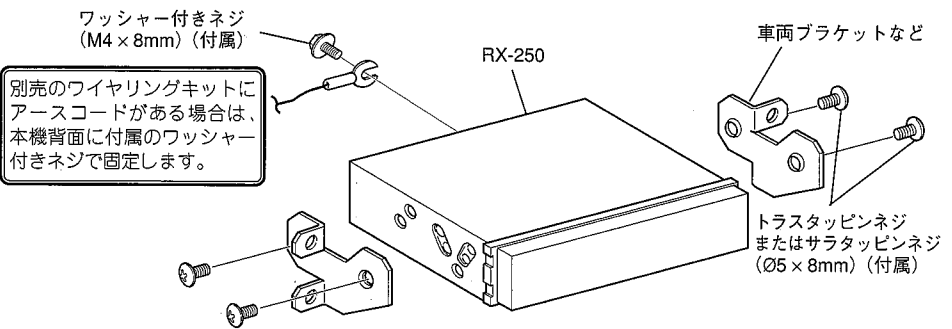


注意 ●取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
 付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
 ●取付ブラケット用ネジはサラ型、トラス型の2種類を付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



付属ネジ一覧

	サラタッピンネジ (Ø5×8mm) …… 4
	トラスタッピンネジ (Ø5×8mm) …… 4
	ワッシャー付きネジ (M4×8mm) …… 1

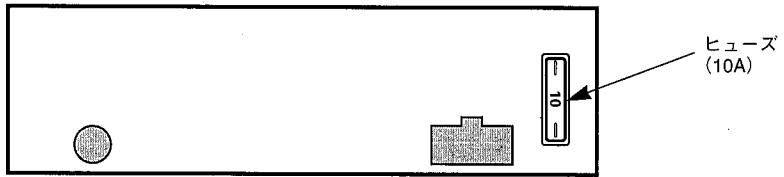


別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

ヒューズ交換のしかた



注意 ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。
音が出ない/小さい	入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。	"接続のしかた (⇨ P.11)"を見て正しく接続してください。
音が悪い/小さい	アッテネーターが オン になっている。	アッテネーターを解除してください。
	音量が最小になっている。	音量を適度に上げてください。
	フェダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。	フェダー、バランスを調整してください。
音質が悪い (音が歪む)	スピーカーコードが間違っ て接続されている。	"接続のしかた (⇨ P.11)"を見て正しく接続してください。
	音量が大きすぎる。	適正音量で使用してください。
	ヘッドが汚れている。	"ヘッドクリーニングについて (⇨ P.5)"を見てヘッドクリーニングを行ってください。
操作スイッチを押しても動作しない	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいます。	スピーカー配線をチェックしてください。
	スピーカー配線が間違っ ている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
	マイコンが誤動作している。	本機のリセットボタンを押してください。
エンジンキーをOFFすると、メモリー内容が消えてしまう	バッテリー電源が所定の場所に接続されていない。	"接続のしかた (⇨ P.11)"を見て正しく接続してください。
テープが入らない	カセットハーフが変形している。	他のカセットテープを使用してください。
	テープが逆向きになっている。	テープが見える面を右にして入れてください。
チューナーの感度が悪い	すでにカセットテープが入っている。	すでに入っているカセットテープを取り出してから入れて下さい。
	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分伸ばしてください。
	アンテナコントロール電源が接続されていない。	"接続のしかた (⇨ P.11)"をみてアンテナコントロール電源を接続してください。

保証とアフターサービス (よくお読みください。)

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(⇒P.13)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。

(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	13.2 dBf (1.3 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比 (dB)	70 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	70 dB以上
ステレオセパレーション	35 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ

カセット部

テープスピード	4.76 cm/秒
ワウ&フラッター	0.12% (WRMS)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~14 kHz (120 μ s)
ステレオセパレーション	43 dB (1 kHz)
S/N比 (IHF-A)	54 dB

オーディオ部

最大出力	30 W \times 4
定格出力	18 W \times 4
トーンコントロール (バス)	(4 Ω 、30 Hz~20 kHz、1%THD)
トーンコントロール (トレブル)	100 Hz \pm 10 dB
	10 kHz \pm 10 dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量 (重さ)

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 154 mm
質量 (重さ)	1.4 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスタッピンネジ (\varnothing 5 \times 8mm)	4本
サラタッピンネジ (\varnothing 5 \times 8mm)	4本
ワッシャー付きネジ (M4 \times 8mm)	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。